

# 第2期「宮崎市地方創生総合戦略」策定に向けた考え方 (2020~2024年度)

## 国

第1期での地方創生について、「継続を力」にし、より一層充実・強化。「長期ビジョン」の下に、「総合戦略」を実行する現行の枠組みを維持。  
(まち・ひと・しごと創生基本方針2019)  
※2019.6 基本方針策定、2020.12 総合戦略を策定(改訂)予定

**長期ビジョン**：2060年までの中長期的展望(約1億人を維持)  
現在の人口等の見通しは、第1期の当初推計と大きな乖離なし。時点修正などの変更にとどめる予定。

**総合戦略**：2020~2024年度(5年間)の基本目標や施策

### <4つの基本目標>

- ① 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### ◆従来の枠組を維持

- ◆必要な強化
  - ② 地方への新しいひとの流れをつくる
  - ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### ◆新たな視点

- ・地方へのひと・資金の流れを強化する「関係人口」の創出・拡大 など
- ・新しい時代の流れを力にする Society5.0、SDGs など
- ・人材を育て活かす
- ・民間と協働する
- ・誰もが活躍できる地域社会をつくる
- ・地域経営の視点で取り組む

### <地方創生版・三本の矢(地方創生に向けた多様な支援)>

- ①情報支援(地域経済分析システムなど)
- ②人材支援(地方創生人材支援制度など)
- ③財政支援(地方創生関係交付金など)

#### ◆従来の枠組を維持

#### ◆地方創生関係交付金の必要な見直し

### <「地方版総合戦略」の策定にあたって>

- ・策定プロセス等の重要性(地域の特性、多様な主体の参画など)
- ・行政区域を越えた広域的な連携を考慮
- ・効果検証の重要性(現行の進捗をKPIの達成度などにより検証)
- ・手引きの活用 など

## 宮崎市

(宮崎市地方創生総合戦略)

「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」を踏まえ、地方創生の実現に向け、引き続き、切れ目ない取組を推進。

第1期計画の枠組みを基本とし、必要な改訂を行うイメージ。

**人口ビジョン**：将来推計人口や目指すべき方向性  
第五次宮崎市総合計画(2018年~)で設定した人口ビジョン(2010ツール、2017年10月1日現住人口を基準)を採用。

**総合戦略**：2020~2024年度(5年間)の基本目標や施策

### <基本方針>

地域に愛着をもち、新たな価値を共に築く  
~「ひと」に優しく、「癒し」のある『豊かな地域社会』の実現を目指して~

### <基本的な考え方>

- ・人口減少を抑制する観点だけでなく、市民の生活の質や満足感を高める
- ・連携中枢都市圏の中心都市としての役割
- ・地域の多様な主体との連携 など

現行の考え方を維持しつつ、国の新たな視点などを踏まえ、見直しを行う。

- ・「中枢中核都市」としての機能強化
- ・「SDGs」の推進
- ・「関係人口」の創出・拡大
- ・「Society5.0」に向けた技術の活用 など

### <体系>

- ・4つの基本目標
  - I 良好な生活機能を確認する
  - II 良好な就業環境を確認する
  - III 魅力ある価値を創造する
  - IV 地域特性に合った社会基盤を確保する

現行の体系を維持。

### ・7つの重点項目

- 1 子育て支援の充実
- 2 医療・福祉の充実
- 3 居住環境の充実
- 4 人材の育成
- 5 雇用の場の創出
- 6 ブランド力の向上
- 7 地域公共交通網の構築とインフラの維持・整備

個別施策について、  
・国の新たな視点等を踏まえた基本的な考え方  
・第1期計画の評価・検証などを踏まえ、見直しを検討。

### ・33の主要施策

※「みやざき共創都市圏ビジョン」との一体的な推進が前提。

## みやざき共創都市圏

